

まいばらしこ どくしょかつどうすいしんけいかく だい じけいかく いけん しょうがくせいよう
米原市子ども読書活動推進計画(第4次計画)への意見について(小学生用)

みんなが、どくしょ(本をよむこと)をすきになってもらうために、学校やとしょかんがすべきことをかんがえてみました。

いけんがあれば、おしえてください。

基本目標 (もくひょう)	本と出あうことで、子どもの生きる力をそだてていく ～みんなでゆたかなころをもったまいばらの子どものをそだてる～
基本方針 (やること)	1 子どもがいろんな本となかよくなれるようにする 2 おうちの人や、ほいくえん・学校、ちいきの人、しりつとしょかんなどがきょう力して、いろんなことをする 3 子どものどくしょがたいせつだということをみんなにってもらって、きょうみをもってもらう
重点事項 (がんばること)	1 赤ちゃんのころから本をよむ(よんでもらう)じかんをつくる 2 かぞくみんなで本をよむことをすすめる 3 おとうさんやおかあさんなどに、本やどくしょのこと、イベントのことをたくさんつたえる 4 学校としょかんをつかいやすくして、じゅぎょうやどくしょでたくさんつかう

学校やとしょかんでおこなうこと

学校	・あさどくしょをする ・おはなしかいやブックトークでいろいろな本をしょうかいする ・子どもたちどうしでおすすめの本をおしえる ・しりつとしょかんから、だんたいかしだして本をかりる など
学校としょかん	・じゅぎょうで学校としょかんをつかう ・学校としょかんの本をふやしたり、きれいにならべたりして、つかいやすくする ・学校ししょがおすすめ本などをしょうかいする など
しりつとしょかん	・かぞくみんなで本をたのしめるように、いろいろなしゅるいの本をあつめたり、いろいろなイベントや本のしょうかいをする ・としょかんのそとでも本のしょうかいなどをして、としょかんにきていない子どもでも、いろんな本をたのしめるようにする ・学校のせんせいや学校ししょ、ボランティア、ちいきの人ときょうりよくする など